

## 11章 総合問題11

### 問題

#### 【1】

##### 解答

記憶においては、短期と長期という2つのまったく異なった処理過程が脳内に存在する。短期の記憶は失われ易いが、逆に長期の記憶は除去し難い。こうした過去の記憶の集合体が人間を個人として特徴付けている。(97字)

##### 別解

記憶には短期と長期の2つの処理過程がある。すべての情報が前者に入り、そこで失われなかった情報が後者に入る。短期の記憶は失われ易いが、長期の記憶は除去し難い。記憶こそが人間を個人として特徴付けている。(99字)

##### 解説

【本文の構成・指針】

第1段落：読者への問いかけ。【導入部で重要度は劣るため、要約には含めない。】

第2段落：①記憶には短期と長期の2つの処理過程がある。

②短期の記憶は失われやすいが、長期の記憶は除去し難い。

第3段落：記憶が人間を個人として特徴付ける。

※第2、第3段落の要点をまとめる：

記憶には短期と長期の2つの処理過程がある。短期の記憶は失われやすいが、長期の記憶は除去しがたい。記憶こそが人間を個人として特徴付ける。(67字)

⇒【字数を満たすために適当な言葉を付け加える】→**解答**

【第2段落のもう一つの情報を付け加える】→**別解**

##### 全訳

8, 5, 7, 3, 1, 2。もし私があなたに今これらの数字を繰り返すよう頼んだとしたら、疑いなく大半の人たちが繰り返すことができるだろう。もし私が長い会話の後に、あなたに繰り返すよう再び頼んだとしたら、あなたはおそらく繰り返すことができないだろう——つまりこういう記憶は短時間しか維持できないものだ。

記憶の貯蔵においては、2つの全く異なる処理過程が、脳の中に組み込まれているということが事実であるように思われる。1つは短期のためのもの——それは15分から1時間程度である——そしてもう1つは長期の記憶のためのものである。多くの情報が、我々の短期の貯蔵場所に一時的に入る。大半はここで失われ、わずかなものだけが長期の貯蔵場所へと入っていく。記憶情報がこの短期の貯蔵場所にある間は、それらは容易に破壊される。例えば他のことに気を取られることによって——あなたは我々がこの話を始めた際の数字の羅列を覚えているだろうか——あるいは脳の活動に対する妨害によって。それは例えば癲癇<sup>てんかん</sup>の発作や、あるいは脳震盪<sup>しんとう</sup>によるものである。けんかで殴り倒された後に目が覚めて、「ここはどこだ」と聞く映画の主人公は、冗談を言っているのではない。もし彼を殴り倒し

た一撃が、芝居でなく本物であったなら、それは彼の脳の中の電氣的な処理過程に影響を及ぼし、そうして彼の短期記憶の保存場所を破壊してしまっていただろう。しかし彼はその永久的な長期記憶を失ってしまっていないだろう。実際に、それらを消し去ることは桁外れに難しい。精神医学の治療において極めて頻繁に行われることであるが、精神分析医は薬物によって、あるいは電気ショック治療、インシュリン療法、精神分析療法の技術を用いてそれらを取り除こうと試みるが、極めて限定された量の成功しかもたらされていない。

それどころか、考えてみると、記憶とはもしかすると人間の最も耐久性のある、個人としての特徴であるかもしれない。私は四肢を失い、臓器を人工のものと取り換え、形成外科によって顔の外観を変えることができるが、私はそれでもなお「私」である——過去の経験、過去の記憶の集合体であり、それは私の脳内にしっかりと固定されている。これらを失って初めて私は私でなくなるのだ。

# 注

- ℓ. 1 ◇ if … asked … could … 《仮定法過去》
- ℓ. 2 ◇ most of you could (repeat these numbers)
- ℓ. 4 ◇ the case = true
  - ◇ involve = include; contain
- ℓ. 5 ◇ storage = the action or method of storing something for future use; the retention of retrievable data on a computer or other electronic system < store = keep (something) for future use
  - ◇ one = a process
  - ◇ term = a limited period
- ℓ. 6 ◇ many items of information = many pieces (bits) of information
  - ◇ find *one's* way into ~ 「～へたどりつく」
  - ◇ briefly = for a short time
- ℓ. 7 ◇ discard = throw away; get rid of
  - ◇ only a few (items of information) find their way …
- ℓ. 8 ◇ distraction = a thing that prevents someone from concentrating or something else
  - < distract = draw away the attention of
- ℓ. 9 ◇ the number sequence (that) we started with
  - sequence = a particular order in which related things follow each other
  - ◇ interference = the action of interfering or the process of being interfered with
    - < interfere = obstruct a process; get in the way
- ℓ. 10 ◇ fit = a sudden attack of an illness
  - ◇ The film hero (who wakes up … asks “Where am I?”) isn’t joking
- ℓ. 11 ◇ if … had … would have … 《仮定法過去完了》
  - ◇ blow ≡ hit; punch
- ℓ. 13 ◇ will not have lost 《現在完了の推量》盲点
  - cf.* He *won't have received* the notice yet. (彼はまだ通知を受け取ってはいまい。)
- ℓ. 14 ◇ indeed (前言の確認・補強) ① used to emphasize a statement or answer ②

- used to introduce a further and stronger point
- ◇ extraordinarily = exceptionally; remarkably
  - ◇ erase = remove
  - ℓ. 15 ◇ psychiatric treatment 「精神医学の療法」
  - ◇ psychologist 「精神分析医」
  - ℓ. 16 ◇ psychoanalytic < psychoanalysis 「精神分析療法」
  - ℓ. 18 ◇ when *one* comes to think about it = come to think of it; thinking about it
  - ◇ durable = capable of lasting
  - ℓ. 19 ◇ limb = an arm or a leg
  - ◇ have + O + *done* 「O が…される」
  - ◇ replace = take the place of
  - ◇ plastic 「人工の；形成（外科）の」
  - ◇ ones = organs
  - ℓ. 20 ◇ alter = change in character of composition, typically in a comparatively small but significant way
  - ◇ still = nevertheless; even so; in spite of that
  - ◇ complex = a group of similar things
  - ℓ. 21 ◇ tight and firm 《準補語》
  - ◇ do I cease : 否定の副詞節 (= only when I lose these) が前に出たことによる倒置。
  - cease to … 「…しないに至る」 / *cf.* cease …*ing* = stop …*ing*

## 【2】

### 解答

(a), (c), (e)

### 解説

- ① 「アルコール中毒患者とは酒を飲むことを止めることができない人のことだ」という文にするには alcohol [ælkəhɒ(ɹ)l] を alcoholics [ælkəhɒɪːlɪks] にする。したがって、第1アクセントの置かれる部分の音素は異なる。
  - ② 「もっとはっきり言えば、彼らは医療介護を必要とするかわいそうな人々なのだ」という意味にするには、pity [pɪti] を pitiful [pɪtɪfl] または pitiable [pɪtiəbl] にする。したがって、第1アクセントの置かれる音素は同じ。
  - ③, ④ 「医師の忠告を患者自らがすすんで守ること」の意味にするには③の volunteer [vɒləntɪər] を voluntary [vɒləntəri] に、④の advise [ədvaɪz] を advice [ədvaɪs] にする。したがって、第1アクセントの置かれる音素が変わるのは③。
  - ⑤ 「粘着テープ（→粘着性のあるテープ）で」という意味にするには adhere [ədhiər] を adhesive [ədhiːsɪv] にしなければならない。したがって、第1アクセントの置かれる音素は異なる。
- ※ adhere の形容詞には adherent [ədhiərənt] があるから、ここは adherent と考えた人がいるかもしれないが、それでは3つ選ぶことができないし、そもそも「絆創膏」

に対する英語をsticking plaster, adhesive plaster, Band-Aidと言うと知っていればここはadhesiveを選べるはず。

- ⑥ 「抑制として役立つ」とするには, restrain [rɪstreɪn] をrestraint [rɪstreɪnt] にすればよい。したがって, 第1アクセントの置かれる音素は同じ。発音問題を通して, 単語の意味を確認しておく(覚える)のは夏休み中にすべきである。また, 語尾にtを付けて名詞化された語にcomplaint (不平; 苦情) もあることを覚えておこう。
- ⑦ 「～も望ましい」とするにはdesire [dɪzəɪə] をdesirable [dɪzəɪərəbl] にする。したがって, 第1アクセントの置かれる音素は同じ。

### 【3】

#### 解答

「全訳」の下線部④, ⑤参照。

#### 全訳

はっきり言ってしまえば, 西暦 1000 年には消毒剤という概念はまったくなかった。もし皿から食べ物が落ちたとすると, 当時のある文書に書かれた忠告は, 落ちた食べ物を拾い上げ, その上で十字を切り, 十分に塩を振りかけてから食せ, というものであった。十字を切ることは, いわば西暦 1000 年の消毒剤であった。床に食べ物を落とした人は, それを拾い上げて口の中に入れるときはある種の危険を冒していることを知っていたが, 自分の信仰心を信じていたのだ。今日では私たちは現代医学を信じているが, ④現代医学が実際どのように機能しているかに関して, 個人的に多くの知識を持っていると主張できる人はほとんどいない。⑤私たちはまた, 極めて重い病気と闘う能力は私たちが「前向きな考え方」と呼ぶものの —— 中世の人々が「信仰」として経験したもの —— によって影響され得ることも知っている。

#### 注

- ℓ. 1 ◇ indeed : 《前言の叙述の確認・拡充》  
◇ no ~ at all = 「全く～でない」  
◇ concept 「できあがった概念」  
cf. conception 「(～の) 考え方」  
her *conception* of marriage (彼女の結婚観)  
◇ of : 《同格》  
◇ antiseptic = a substance that helps to prevent infection in wounds by killing bacteria (消毒剤)  
cf. disinfection; sterilization (消毒)
- ℓ. 2 ◇ fell off your plate  
○ plate 「浅い皿」  
◇ contemporary = ① *belonging to the same time* ② *belonging to the present time*; modern  
◇ document = a piece of written or printed matter that provides information or evidence, or that serves as an official record



◇ was to  $\left\{ \begin{array}{l} \text{pick it up,} \\ \text{make the sign of the cross over it,} \\ \text{salt it well —} \\ \boxed{\text{and [then]}} \\ \text{eat it.} \end{array} \right\}$

○ pick up = lift up

○ it = the food

○ make the sign of the cross over ~ 「～の上で十字を切る」

○ sign = a gesture or action used to convey information or an instruction

○ cross 「十字」 (a symbol of Christianity)

○ salt = put salt on or in (food)

○ well = in a good or satisfactory way

ℓ. 4 ◇ knew 「知っていた」

※ 「知った (= learned)」ではない。

ℓ. 5 ◇ take some sort of risk

○ some sort of 「ある種の」

○ some sort of の後続するものは, a kind [sort; type] of の後続するものと同じように,  
名詞は  $\boxed{C}$  であっても無冠詞単数がくる。

○ take a risk = do something even though you know that something bad could happen as a result

ℓ. 6 ◇ trust in = have confidence in; believe that something is good and can be relied on

◇ faith = ① strong religious belief (←ℓ. 5 he trusted in his *faith*; ℓ. 9 what the Middle Ages experienced as “*faith*”) ② complete trust or confidence (←ℓ. 6 Today we have *faith* in modern medicine)

◇ modern medicine 「現代医学」

○ medicine = the science of the treatment and prevention of disease

◇ few of us can claim ~ = there were few of us who can claim ~

○ claim = assert that one has gained or achieved (something)

ℓ. 7 ◇ personal knowledge 「本人が直接知っていること；本人が直接知っている知識」

◇ it = modern medicine (現代医学)

◇ work : 《「本来の機能を果たす」がシンボル》

◇ We also know that

the ability  
|| (同格)  
to combat quite major illnesses

can be affected

by |  
what we call “a positive state of mind”  
what the Middle Ages experienced as “faith.”

- also : that以下を修飾
- know 「知っている」 ※ 知る (= learn) ではない
- combat = take action to reduce or prevent (something undesirable)
- major illness 「重病；大病」
- major [meɪdʒə] = serious
- affect = have an effect on
- what we call “a positive state of mind”
- what we call … 「いわゆる…」
- positive = constructive, optimistic, or confident
- the Middle Ages 「中世」《西洋史でおよそ西ローマ帝国の滅亡（476 年）から、イタリアルネサンスの興隆期の 15 世紀まで。または Dark Ages（暗黒時代）を除いた 1000 年頃から 15 世紀まで。》  
cf. middle age 「中年，初老」《youth と old age の中間；大体 40 ～ 60 歳》
- as ～ 「～として」
- “faith” = so to speak “faith”

#### 【4】

##### 解答

- (1) c      (2) d      (3) d      (4) b      (5) b      (6) d      (7) c  
(8) しかし，私にはそれを尋ねるすべが思いつかなかった，少なくとも，母がそこには無理だった  
(9) d      (10) a      (11) d

##### 解説

- (1) アンナが学校から帰って来ると，見知らぬ男が台所で料理をしている。そのような状態で発せられた，‘Mum, there’s a man in the kitchen. He’s cooking. He says he’s making polenta.’ という言葉は，「なぜ見知らぬ男が台所にいるのか。その男は何者か」という内容を遠回しに言った発言であるのに，母親が ‘Yes, darling? Polenta?’ と言って答えをぼかしているので，c と考える。

- (2) a 「私はまだ憂鬱のどん底にいた。」  
 ○ in the depths of depression = completely depressed  
 b 「私は母親がいかに無防備であるかを突然悟った。」  
 c 「私の肩の上にとった母親の腕は重かった。」  
 d 「私は、事態は耐え難いものだと、突然思った。」
- (3) その前に lodger, 直後に one of the spare rooms があることから, let を考える。ただし, let に rent の意味があり, let a room [house] 「部屋 (家) を貸す」のように用いるという知識がないと短時間で答えを出すのは難しい。
- (4) and everything 「～など」という慣用表現の知識を問う問題。  
 anything, everything, nothing, something を含む慣用表現は頻出するので, 辞書に載っている慣用表現はすべて書き出して覚えこむこと。
- (5) a take down = lower  
 b take in = understand; absorb  
 c take out = ① take (a person) somewhere for pleasure ② buy from a takeout restaurant  
 d take over = take the place of another in (a position, etc.)  
 'His name's Konstantin. He's Russian.' という母親の思いがけない発言に対して, I paused to take ( ) this information. A Russian. という心のうち。父の死後すぐに母親が異なる国籍の男性を家に受け入れている状況を考えればわかるはず。
- (6) a 「私はなぜ母親がそんなに穏やかに話すのかわからなかった。」  
 b 「私は母親がどのようにして声を変えたのかわからなかった。」  
 c 「母親の声の抑揚は, それを理解するのを困難にした。」  
 d 「母親の話し方には, 何か聞き慣れぬものがあった。」
- (7) a 「母親は手を差し出していなかった。」  
 b 「家の中からなくなっているものは何もなかった。」  
 c 「母親の表情からは何も読み取れなかった。」  
 d 「状況は完全に母親の支配下にあった。」
- (9) a sense of direction 「方向感覚」  
 b sense of humour 「ユーモアの感覚」  
 c sense of purpose 「目的意識」  
 d sense of unease 「不安」  
 ○ 家に見知らぬロシア人がいて, 台所で料理をしている。  
 ○ 母とは親密な関係にあることが窺える。  
 ○ 母はこれまで自分の知らなかった側面を見せ始めている。  
 などから, d と考える。
- (10) a 「もう少しで泣くところだった。」  
 b 「もう少しで母親に話しかけるところだった。」  
 c 「もう少しで目を開けてしまうところだった。」  
 d 「もう少しで起きていることを認めてしまうところだった。」

‘Anna, are you awake?’ ‘I know you’re awake.’ に対して, I was on the point of giving in 「私はまさに降参しようとしていた」のであるから, **b・c・d** は考えられるが **a** は不可である。

- (11) **a** get at = ① reach ② discover  
**b** get in = take indoors (in advance)  
**c** get on = board  
**d** get over = overcome

父の死後すぐに, 母親と親しい関係にあると思われるロシア人の男性が家に住みだして, 母親は父親が自分を愛してはいなかったと語った一連の出来事は, 子供の心を深く傷つけるものだとは容易に想像がつくが, この一連の出来事がall thisである。

以上より, 「時と共にこうしたことすべてを克服する」と考えて, **d** を選ぶ。

**全訳**

ある日, 学校から帰宅すると, 台所に見知らぬ男がいた。その男はシチュー鍋の中をしきりにのぞき込みながら, コンロの上で何かを作っていた。

「あなたは誰? ここで何をしているの?」私は彼に尋ねた。父が亡くなってから1週間がたっていた。

その男は, 「シーッ。今はだめだ。ちょっと待って。」と言った。彼には強い外国人なまりがあった。

私は彼が料理に集中していることがわかり, 「あなたが作っているのは何?」と尋ねた。

今度は彼は私の方をちらっと見て, 「ポレンタだよ。」と言った。

私はコンロの方に行き, シチュー鍋の中を見た。中身は黄色味がかった, べとべとした, どろどろのセモリナであった。「まずそうね。」と私は言い残して, 母を捜しに行った。

母は庭にいた。「お母さん, 台所に男の人がいるわ。料理をしているのよ。ポレンタを作っているところだって言ってるわ。」

「そう? ポレンタですって?」母は言った。私は母は大した助けになってはくれないのではないかと思い始めた。お父さんがここにいてくれたらなあ, と思った。「ポレンタがどんなものかは, 私もよくは知らないのよ。」母はあいまいな口ぶりだった。

「お母さん, ポレンタのことはどうでもいいのよ。あの人は誰? うちの台所で何してるの?」

「ああ!」母は叫んだ。母は薄手の花模様のサマードレスを着ていたが, 私は突然, 母がとても痩せていることに気づいた。「お母さんたら。」と思った。すべてが私の上に積み重なっているように思え, 不意に私は泣いていた。「泣かないで, ねえ。大丈夫よ。あの人は新しい下宿人よ。」と言って, 母は私を抱きしめた。

私は目をふき, 鼻をすすった。「下宿人?」

「父さんが死んでしまったので, 空いている部屋の1つを貸さなくてはならないの。」と母は説明してくれた。母は背中を向けると家の方に歩き始めた。私たちにはその下宿人が台所の中をあちらこち歩きまわっているのが見えた。私は母の腕に手を置いて, 家の中に入るのを止めようとした。

「それじゃあ, あの人はここに住むことになるの? 私たちと一緒に? つまり, あの人は私たちと食事や何もかも一緒にするの?」と私は尋ねた。

「ここはもうあの人の家なのよ。私たちはあの人がくつろげるようにしてやらなくてはいけないの。」と母は言った。そして、まるであとから思いついたかのように「あの人の名前はコンスタンチン。ロシア人よ。」と付け加えて母は家の中に入った。

私は、今知ったことを受けとめようと、立ち止まった。ロシア人。これにはエキゾチックで興味をそそる響きがあり、私に彼の無作法を許す気にさせた。私は母が台所に入っていくのをじっと見ていた。ロシア人のコンスタンチンは目を上げると、その顔はパッと明るくなって笑みを浮かべた。「マリア！」彼が両手を広げると、母は彼に近づいていった。2人は両頬にキスをした。母は振り向くと、私に向かって手招きした。

「これが私の娘よ。」母は言った。その母の声の調子は、私がこれまで聞いたこともないのであった。母は私の方に手を伸ばした。

「ああ、アンナだね。」とそのロシア人は言った。

私は彼が私の名前をそんなにすぐ口にするとは思っていなかったので、びっくりした。私は母を見た。母の顔は何も教えてはくれなかった。ロシア人は両手を差し出して、「コンスタンチンです。お会いできてとてもうれしい。君についてはこれまでにいろいろと聞いています。」と言った。

私たちは握手を交わした。私はどうやって彼が私についてこれまでにそんなにいろいろと聞いているのかを知りたかった。④しかし、私にはそれを尋ねる術が思いつかなかった。少なくとも、母がそこには無理だった。

ロシア人はまた料理を始めた。彼はうちの台所の勝手をよく知っているようだった。彼はセモリナのようなもののかたまりの上に塩とコショウを振りかけ、それからそれを居間へと運んだ。どういうわけか、母と私はそのあとについていった。私たち3人は肘掛け椅子に座り、互いに顔を見合わせた。私は、落ち着かないのは自分だけだと思った。

次の日の夕方遅く帰宅すると、コンスタンチンと母は夕食を食べながら、話に熱中していた。テーブルにはローソクがあった。

「どうしたの？」私は尋ねた。

「お腹、空いてる？ 夕食をとっておいたわよ。台所にあるわ。」と母が言った。

私はとても空腹だった。「いらない。大丈夫。」と私は不機嫌に言った。

まだ早かったけど、私は2階に行ってベッドに入った。

しばらくして階段をのぼってくる母の足音が聞こえてきた。母は私の部屋に入ると、私に覆い被さるように体を寄せた。私は目を閉じ、深く呼吸した。「アンナ？ アンナ起きてる？」と母は言った。

私は黙ったままだった。

「起きていることはわかってるわ。」と母は言った。

しばらく沈黙があった。私が降参しようとしたその時、母がまた話し始めた。母は「お前の父さんは私を全然、愛してなかったのよ。お前はこのことを知る必要はなかったんだけどね。父さんは私を愛していなかったのよ。」と言った。母はまるで私の頭に焼きつけようとしているかのように、一言一言を恐ろしいほどはっきりと話した。私は目をぎゅっと閉じた。ベッドの中で体を硬直させたまま、時間がたてばこういったことすべてを克服することになるのだろうかと考えながら、私は母が部屋を出ていくのを待った。

- ℓ. 2 ◇ stove = ① *the top part of a cooker that has gas or electric rings* ② a closed metal box in which you burn wood, coal, etc. for heating
- ◇ peer = look with difficulty or concentration
- ◇ intently < intent = showing great attention
- ◇ saucepan = a round metal pot with a handle that is used for cooking things on top of a cooker
- ℓ. 5 ◇ shh: used often in prolonged or rapidly repeated form to urge or command silence or less noise
- ※ sh, sshとも綴る。
- ◇ Not now.: used to tell someone that *one* does not want to talk to them or do something now, because *one* is busy, tired, etc. 「今はだめだ；後でね；またね」
- 多忙, 疲労などのために, 依頼を断る時に用いる決まり文句。  
cf. "Tell me." "Not now." (「話してくれ。」「後でね。」)
- ◇ Just a minute. = Wait a minute. 「ちょっと待って下さい。」… used to tell someone *one* wants them to wait for a short time while *one* does or says something else.
- ◇ accent = ① *a particular way of pronouncing words that is connected with the country, area or social class that one comes from* ② the greater force that *one* gives to a particular word or part of a word when *one* speaks
- ℓ. 7 ◇ glance at = look quickly at
- ◇ polenta = mush made of chestnut meal, cornmeal, semolina, or farina
- ℓ. 8 ◇ I went over to the stove
- overは距離感を表す。ここでは物理的な距離感のみならず, 心理的な距離感も表している。
- ◇ stuff [stʌf] U = matter, material, articles, or activities of a particular or unspecified kind
- ◇ yellowy = yellowish; slightly yellow in color
- ◇ sticky = tending to stick; like glue in texture
- ℓ. 9 ◇ thick = (used about a liquid) that does not flow easily
- ◇ semolina = the hard grains left after the milling of flour, used in puddings and in pasta
- ◇ disgusting = very unpleasant < disgust = *v.* cause a strong feeling of not liking or approving of; make feel sick / *n.* revulsion or strong disapproval
- ◇ in search of = searching for
- 前置詞がofである点に注意。盲点
- in quest of; in pursuit ofもこのパターンを取る。
- ℓ. 12 ◇ darling: a word that *one* says to somebody *one* loves
- ◇ suspect = believe that something may happen or be true, especially something bad

cf. doubt = think something is unlikely or to feel uncertain (about something)

◇ might : 直説法過去形

◇ not ... much [部分否定]

ℓ. 13 ◇ help U = assistance; support

◇ not exactly = (spoken) (used when *one* is saying the opposite of what *one* really means) not really; not at all

ℓ. 14 ◇ vaguely = in a way that is not clear; slightly < vague = not clear or definite

ℓ. 15 ◇ care about = be worried about or interested in

※ careを含む慣用表現は要注意。

Ex. I couldn't *care* less. = It does not matter to me at all.

Who *cares*? = nobody is interested; it is not important to anyone

*care* for = ① look after (somebody) ② like or love (somebody or something)

ℓ. 16 ◇ ah: used to show surprise, happiness, agreement, etc.

◇ exclaim = say something suddenly and loudly because *one* is surprised, angry, or excited

cf. claim = state that something is true, even though it has not been proved

◇ a thin 

<u>flowery</u> <u>summer dress</u>
------------------------------------

The diagram shows a box containing the words 'flowery' and 'summer dress' underlined. An arrow points from the word 'thin' to the box. Inside the box, an arrow points from 'flowery' to 'summer dress'. Another arrow points from the bottom of the box back to the word 'thin'.

○ thin = (of a garment or fabric) made of light material ⇔ thick

○ flowery = decorated with a pattern of flowers; floral; flowered

ℓ. 17 ◇ thin = having little flesh or fat on the body

◇ Everything seemed to pile on top of me. 「すべてが私の上に積み重なっているように思えた。」

○ pile = gather in a group

○ on top of = ① *so as to cover; on the highest surface of* ② very near to ③ in control of ④ in addition to

○ この部分は、父は1週間前に亡くなり、帰宅してみれば台所で見知らぬ男が勝手に料理を作っている、母はひどくやつれているようだし、その上、母に見知らぬ男のことを尋ねても、質問の意味すら理解していない様子であるという状況から、アナは不幸や嫌なことが一度に重なって自分の身に降りかかってきたようで、耐えられないという気持ちになっているという状況の比喩表現である。

ℓ. 18 ◇ found *oneself* ...ing 「気がついてみると...していた」

◇ unexpectedly = in a way that is not expected; suddenly

◇ love: a word used when *one* is talking to someone *one* loves; darling

◇ It's all right.: used to make someone feel less afraid or worried

ℓ. 19 ◇ lodger = someone who pays rent for a room in someone's house

< lodge = (old-fashioned) pay to live in a room in someone's house



- ◇ hug = put *one's* arms around someone and hold tightly to show love or friendship
- ℓ. 20 ◇ wipe = rub a surface with something in order to remove dirt, liquid, etc.
- ◇ sniffing < sniffle = breathe air into *one's* nose noisily, for example when *one* is crying or has a cold
- ℓ. 21 ◇ With your father gone 「父さんが死んでしまったので」
- with + O + C 「O が C である状態を伴って」
- gone = be dead or no longer exist
- ◇ I'm afraid: used to politely tell someone something that may annoy, upset, or disappoint them
- ◇ let = rent or hire out *cf.* a house to *let* (貸家)
- cf.* let the apartment by the month (アパートを月極めで賃貸する)
- ℓ. 22 ◇ spare = not being used
- ◇ turn = move *one's* body so that *one* is looking in a different direction
- ◇ could see
- < can: used with the verbs 'see', 'hear', 'feel', 'taste', and 'smell', and with verbs connected with thinking, to mean that someone sees something, hears something, etc.
- ℓ. 23 ◇ about = in many different directions within a place or in different parts of a place; around
- ◇ stop A *…ing* = stop A from *…ing* = stop A's *…ing* 「A が…するのを妨げる」
- ℓ. 25 ◇ I mean: used when explaining or giving an example of something
- ◇ and everything = and a lot of other similar things
- cf.* He can repair a car *and everything*. (彼は車の修理やその他いろいろできる。)
- ℓ. 26 ◇ make someone feel at home = make someone feel relaxed by being friendly towards them
- ◇ add = say more about something that has just been said
- ℓ. 27 ◇ afterthought = something that *one* mentions or adds later because *one* did not think of it or plan it before
- ℓ. 28 ◇ pause = stop speaking or doing something for a short time before starting again
- ◇ take in = understand and remember new facts and information; absorb
- ◇ sound = give a certain impression to the ear or (figurative) to the mind
- ◇ exotic [ɪɡzɑːtɪk] = interesting or exciting because of being unusual or not familiar: used for describing things that are interesting or exciting because they are in or from distant foreign countries
- ℓ. 29 ◇ incline = turn the mind in a certain direction; draw towards
- ℓ. 30 ◇ Konstantin (,) the Russian (,)
- Konstantin と the Russian は同格関係。
- ◇ look up = raise *one's* eyes
- ◇ light up = become bright or flushed with emotion

- ℓ. 31 ◇ open = spread out, expanded, or unfolded  
◇ look around = examine (things) or search for (something / someone), while standing still or moving around
- ℓ. 32 ◇ beckon to = make a signal to (someone) with *one's* hand, to show that *one* wants them to come towards *one* or to follow *one*
- ℓ. 33 ◇ note = a type of feeling or quality when someone speaks or does something  
◇ that : 関係代名詞。先行詞は a note.
- ℓ. 34 ◇ identify = prove or recognize as being a specified person or thing  
◇ stretch out = extend (the hand, etc.), for example, to greet someone, or take something
- ℓ. 36 ◇ startle = make someone suddenly surprised or slightly shocked  
◇ have      my name      on his lips 「私の名前をそんなにすぐ口にする」  
↑ V                  O                  C  
└─ so readily  
○ have + O + on *one's* lips 「O を口にする ; 言う」  
○ readily = ① *quickly and easily* ② quickly, willingly, and without complaining
- ℓ. 37 ◇ give away = show what someone is thinking when they are trying to keep this a secret  
◇ hold out *one's* hands 「手を差し出す」  
○ hold out = hold something where other people can reach it
- ℓ. 38 ◇ hear about = receive news or information about
- ℓ. 39 ◇ shake hands 《相互複数》  
◇ but couldn't think of a way of asking (how he had heard so much about me), at least (could) not (think of a way of asking) with my mother there  
○ think of = consider  
○ at least: used when *one* is correcting or changing something that *one* has just said  
○ not : 文法的に厳密に言うと、先行する否定文を代用する用法  
○ with my mother there [付帯状況]
- ℓ. 41 ◇ turn back = return to doing something in the way it was done before
- ℓ. 42 ◇ sprinkle = scatter small drops of liquid or small pieces of something  
◇ the mass of semolina-like substance 「セモリナのようなもののかたまり」  
○ mass = a large amount of a substance which does not have a definite or regular shape  
○ -like: used after a noun to say that something is similar to or typical of the noun
- ℓ. 43 ◇ through = from one side of an area to the other or between a group of things  
◇ living room = the main room in a house where people relax, watch television, etc.  
◇ for some reason = for a reason that *one* does not know 「なんとなく ; どういうわけか」
- ℓ. 44 ◇ in armchairs

- armchairなので, onではなくinとなっている点に注意。
- ℓ. 45 ◇ sense of unease = a feeling of unease 「不安感」
  - unease U = a feeling of worry or slight fear about something
- ℓ. 46 ◇ be deep in = be paying attention to something so much that *one* does not notice anything else that is happening around *one*
- ℓ. 47 ◇ over dinner 「夕食を食べながら」
  - over = while having (a meal or a drink)
  - ◇ There were candles on the table.
  - 無冠詞の複数形は「2以上無限大」を表すのが原則であるが, ここではon the table という範囲を限定する語があるので, candlesはsome candlesの意味として機能している。
- ℓ. 48 ◇ go on = happen; occur; take place
- ℓ. 50 ◇ I was starving. = I was very hungry.; I was starved.
  - ◇ No, thanks: used to say politely answering someone's question
  - ◇ sullenly < sullen = silent because of bad humor; gloomily sulky
  - ◇ I'm fine.: used when telling someone that *one* does not want any more when they offer *one* something
- ℓ. 51 ◇ I went (upstairs) to bed. 「2階へ行ってベッドに入った。」
  - upstairs = towards or on an upper floor in a building ⇔ downstairs
  - upstairsが常に「2階へ」という意味でないことに注意。
- ℓ. 52 ◇ footstep = the sound each step makes when someone is walking
  - ◇ stairs: a set of steps built for going from one level of a building to another
  - ◇ leant over < lean over = incline *one's* head and shoulders so that *one* can more easily hear someone, see what they are doing, etc.
- ℓ. 57 ◇ pause = a short time during which someone stops speaking or doing something before starting again
  - ◇ be on the point of ... *ing* = be going to do something very soon; be on the verge of doing something; be about to do something
  - ◇ give in = allow *oneself* to be overcome (by something); to finally agree to do or accept something that *one* had at first opposed to do, especially because someone has forced or persuaded *one* to do
    - cf.* give in to = no longer try to stop *oneself* from doing something *one* wants to do
- ℓ. 58 ◇ should have *done*: *should have* followed by a past participle can be used for referring to actions that did not happen or for actions that have probably happened:
  - Ex.* I *should have brought* an umbrella. (= I did not bring one.) The meeting *should have finished* by now. (= It is likely it has ended.)
- ℓ. 59 ◇ with a terrible clarity 「恐ろしいほどはっきりと」
  - terrible = to a very great degree
  - clarity = the quality of being clear and easy to understand

○ terribly clearly とすると不格好なので、with a terrible clarity という形を使っているのである。

cf. with surprising ease (驚くほど容易に)

with undue severity (不当に厳しく)

◇ as if (she were) trying to burn it into my brain

○ burn A into B = make a clear impression of A upon B; impress A deeply on B

○ it = “Your father never loved me. You should not have had to know this. He did not love me.”

◇ I squeezed my eyes tight.

○ tight は目的補語として機能している。

○ squeeze *one's* eyes tight = close *one's* eyes tightly

ℓ. 60 ◇ Rigid in my bed, I waited for my mother to leave the room, wondering if I would get over all this with time.

○ Rigid in my bed, [主格補語が文頭に出た形]

cf. *Sad and weary*, he slowly went home. (心悲しく疲れて、彼はそろそろ帰っていった。)

*Impatient to heat*, he left town for the country.

(暑さに耐えかねて、彼は都を去って田舎に行った。)

○ rigid = stiff and not moving or bending

◇ I waited for my mother to leave the room

○ I waited for my mother's leaving the room という英語はないので注意。

◇ wonder = think about something that you are not sure about and try to guess what will happen, etc.

ℓ. 61 ◇ would : 直説法過去

◇ get over = begin to feel better after a very upsetting experience

◇ with = accompanied

## 【5】

### 解答

「全訳」の下線部参照。

### 全訳

偉人は皆、2つのまったく異なった側面から眺められなくてはならない。彼らが偉人であるという限られた側面と、彼らが残りの我々と同じような普通の人間であるというもう1つ別の側面とがある。常に自分の見識の高さと同じ水準で生活している偉人など1人としていない。我々と同様に、日常生活においては、どんな偉人でも取るに足らない関心事で頭がいっぱいである。彼らは妬みや機嫌の悪さによって心を動かされたり、愚かしい言葉を口にしたり、卑劣な行動をとったり、身近な者たちに対して思いやりのない振る舞いをしたりしがちである。しかしながら、崇拜すべき英雄が我々には必要なために、我々は通常、偉人の内にある凡人の要素を無視、あるいは否定してしまう。我々はその人物のかつてのあるがま

まの姿の代わりに、時にはまだその人物が生きているうちに、伝説的人物像をあててしまうのだ。

注

- ℓ. 1 ◇ distinct = separate; different  
< distinguish  
◇ aspect 「相；面」  
◇ There is the limited aspect ..., and there is the other aspect ...  
< one (limited aspect) ... the other (aspect) ...  
○ one ... the other ... → 2 個の要素の存在。
- ℓ. 2 ◇ 1 つ目の which の先行詞は the limited aspect。2 つ目の which の先行詞は the other aspect。
- ℓ. 3 ◇ No great man lives ...  
◇ vision = insight
- ℓ. 4 ◇ all (great men) are largely ...  
◇ preoccupy = dominate the mind of (a person)  
◇ petty = petit; small; of lesser importance  
◇ concern = affair; matter of interest  
◇ prone { to be moved ...  
          to say ...  
          to act ...  
          to behave ...  
○ be prone to ... = be inclined to ..., be liable to ..., be apt to ...
- ℓ. 5 ◇ temper = person's state of the mind  
◇ meanly < mean = unkind; vicious
- ℓ. 6 ◇ inconsiderately < considerate = thoughtful  
◇ Our need for heroes to worship, however, generally makes us ...  
○ to worship は heroes を修飾。形容詞用法の不定詞。  
○ worship = adore; idolize  
○ make + A + ... 「A に ... させる」
- ℓ. 7 ◇ disregard = pay no attention to; ignore  
< regard = pay attention to  
cf. regard A as B (A を B とみなす)  
◇ For the man as he was we substitute, (挿入), a legend  
< we substitute a legend for the man as he was  
○ substitute A for B = use A in exchange for B  
○ A = a legend, B = the man as he was  
○ as = the way  
○ legend = traditional story

【6】

解答

Day	Time	Scheduled Activity
Monday	5:00 p.m. ~ 9:15 p.m.	Work
Tuesday		
Wednesday		
Thursday	<u>10:00 p.m.</u>	<u>Call Lori (to confirm)</u>
Friday		
Saturday	<u>7:00 p.m.</u>	<u>Meet Lori for dinner</u>
Sunday	6:00 p.m. ~ 8:00 p.m.	Go to a <u>piano</u> recital

- (1) T      (2) F      (3) T      (4) F      (5) T  
 (6) F      (7) F      (8) T      (9) F

Script

CD 2 9 ~ 11

W : Hello.

M : Hello, is this Lori?

W : Yes, it is.

M : This is William Lee. We graduated from high school together.

5 W : Bill! My goodness, how are you doing? I didn't recognize your voice. It must have been — what? — sixteen years now? Are you calling long distance?

M : No, no, I'm living in Shibuya Ward. I've been in Japan for the last three years. But I didn't know you were living here too until the other night.

W : Really? How did you find out?

10 M : I was watching TV with my wife and I spotted you on TV. My wife thought I was imagining things at first, but I never forget a face.

W : On TV? I was on TV? Doing what?

M : It was a report about some new regulations on airlines. They showed a scene in one of the big travel agencies and there you were sitting at the counter.

15 W : Oh, now I remember. I went to the travel agency to pick up my tickets to go home

for summer vacation, and while I was waiting, a camera crew came through and took some shots. I thought they were doing a promotional video or something. I never realized it was for television.

M : Well, it was. You were on both the evening news and the late-night news. I saw it  
20 twice. Anyway, I decided to look up your number and say hello. Why don't we get together this week and have dinner or something?

W : Uh, sure, I'd love to, but I'm pretty busy this week. How does your schedule look?

M : I work late on Monday, but I'm free every other weeknight except Friday.  
Wednesday would be the best for me.

25 W : I work every evening during the week, so weeknights aren't good unless you want to meet after nine. I finish on Saturdays at six, so that would be best for me. Uh, what about Saturday, November 7?

M : Saturday ... Hold on, let me check my schedule. I don't have to go to the office on Saturdays, but I usually have to work at home on the weekends, especially recently.

30 W : Well, if Sunday or Sunday night would be better ...

M : No, hold on. That's no good. I'm going to a piano recital on Sunday. Where do you work on Saturdays anyway?

W : In Ebisu, near the station.

M : Oh, well, that's convenient. It would only take me thirty minutes to get there by  
35 train. If the weather is nice, I could get there by bicycle in twenty minutes.

W : Good, then. Let's make it the seventh, then.

M : Why don't we meet at the station at 6:30? Or is that too early?

W : Maybe a little. I might not be able to get off work exactly at 6:00. Sometimes I  
need to see some students or do a little work in the office. Seven would be a safer  
40 bet.

M : OK, then, let's meet at 7:00 at the east exit.



W : The west side would be better. The place where I teach on Saturdays is just around the corner from there.

M : Sure, no problem. I'm looking forward to seeing you again.

45 W : Will your wife be coming too?

M : I don't know. Her parents live pretty far away, so there is no one to leave the baby with.

W : Can't you bring the baby along?

M : Maybe, but she's at the age where it's a lot of trouble sometimes.

W : I see. Well, it's up to you, of course, but I'd love to meet your wife and baby.

50 Anyway, please call me and confirm our appointment on Thursday night, OK?

M : Sure, I'll call you Thursday at 9:00.

W : Better make it 10:00.

M : Fine, then. (588 words)

**全訳**

W : もしもし。

M : もしもし、ローリかい？

W : ええ。

M : ウィリアム・リーだよ。一緒に高校を卒業した…

W : ビル！ まあ、驚いた。元気？ あなたの声だってわからなかったわ。もう…そうね…16年は経っているはずよね。遠くからかけてるの？

M : いや、今は渋谷区に住んでるんだ。ここ3年はずっと日本にいるんだよ。でも、ついこの前の晩まで君もここに住んでるって知らなかったんだ。

W : 本当？ どうしてわかったの？

M : 妻と一緒にテレビを見ていたら、君を見つけたんだ。妻は初めは僕の気のせいじゃないかって思ったみたいだけど、僕は人の顔は絶対に忘れないからね。

W : テレビで？ 私がテレビに出てたの？ 何で？

M : 新しい航空規制についてのレポートで、大きな旅行代理店の映像が映っていて、君がそのカウンターに座っていたんだ。

W : ああ、思い出した。夏休みに帰省するためのチケットを取りに旅行代理店に行って待っていた時に、取材班が入ってきて撮影していったの。プロモーション・ビデオか何かを作ってるんだと思ったわ。テレビだなんて全然わからなかった。

M : テレビだったんだよ。夕方のニュースと夜遅くのニュースの両方に出てたよ。2回見たんだ。とにかく、番号を調べて電話してみようと思ったんだ。今週あたり会って食事か何かどう？

W：ええ，そうしたいわ。でも今週はかなり忙しいの。あなたの予定はどんな感じ？

M：月曜は遅くまで仕事だけど，金曜以外の平日の夜は空いてるよ。水曜日が一番都合がいいけど。

W：平日は毎晩仕事があるから，平日の夜は無理だわ。9時以降でいいなら別だけど。土曜は6時に終わるから，私はその日が一番いいんだけど。11月7日の土曜はどう？

M：土曜か…ちょっと待って。予定を見てみる。土曜は会社には行かなくていいんだけど，週末はたいてい家で仕事をしないとイケないんだ。特に最近はね。

W：じゃあ，日曜か日曜の夜の方がよければ…

M：いや，待った。それは駄目だ。日曜はピアノのリサイタルに行くんだ。それはそうと君は土曜日どこで働いてるの？

W：恵比寿よ，駅の近く。

M：ああ，それは都合がいい。電車でたった30分で着くよ。天気がよければ，自転車で20分で行けるし。

W：そう。じゃあ，7日にしましょう。

M：6時30分に駅で会うのはどう？それとも早すぎる？

W：ちょっとね。6時ぴったりに会社を出られないかもしれないわ。生徒と話をしたり，オフィスで少し仕事をしなきゃいけないこともあるし。7時の方が確実ね。

M：わかった。じゃあ，7時に東口にしよう。

W：西口の方がいいわ。土曜日に教えている所はそこからすぐなの。

M：ああ，いいよ。また君に会えるのを楽しみにしてるよ。

W：奥様も一緒にいらっしゃるの？

M：わからない。彼女の両親はずいぶん遠くに住んでるから，子供をあずける人がいないんだ。

W：お子さんも一緒に連れて来られないの？

M：連れて行けるかもしれないけど，ちょうどいろいろ厄介を起こす年頃なんだ。

W：そうなの。もちろん，あなた次第だけど，奥様やお子さんにもぜひお会いしたいわ。とにかく，木曜の夜に電話して確認してくれる？

M：いいよ。木曜の9時に電話するよ。

W：10時の方がいいわ。

M：わかった。

**注**

- ℓ. 5 ◇ My goodness. 「おやまあ。；ああ驚いた。」
- ◇ I didn't recognize your voice 「あなたの声だとわからなかった；声であなただとわからなかった」
- ◇ it must have been sixteen years now 「(最後に会ってから) もう16年経っているはずだ」
- ℓ. 6 ◇ call long distance 「長距離電話をする」
- ℓ. 7 ◇ ward 「区」
- ℓ. 8 ◇ I didn't know … until the other night 「先日の夜まで…だと知らなかった；先日の

夜初めて…だと知った」

- ℓ. 10 ◇ spot ~ (on...) 「(…に) ~を見つける；発見する」  
ℓ. 11 ◇ be imagining things 「気のせいだ」  
◇ I never forget a face 「人の顔を忘れることはない」  
ℓ. 14 ◇ there you were sitting at the counter 「そこにちょうどあなたがカウンターに座っていた」  
ℓ. 15 ◇ pick up ~ 「~を受け取る」  
ℓ. 16 ◇ a camera crew 「報道カメラ班」  
◇ come through 「(～に) 入ってくる」  
ℓ. 17 ◇ take a shot 「(写真・映像などを) 撮る」  
ℓ. 20 ◇ look up ~ 「~を調べる」  
◇ Why don't we ...? 「…しませんか？」  
◇ get together 「会う」  
ℓ. 22 ◇ How does your schedule look? 「あなたの予定はどのようなですか？」  
ℓ. 25 ◇ unless you want to meet after nine 「9時過ぎに会いたいというのでなければ」  
ℓ. 28 ◇ hold on 「(電話を切らずに) 待つ」  
ℓ. 36 ◇ make it the seventh 「(約束を) 7日にする」  
ℓ. 38 ◇ get off work 「仕事を終える；退社する」  
ℓ. 39 ◇ seven would be a safer bet 「7時にした方が確実だ」  
ℓ. 42 ◇ (just) around the corner 「(距離・時間的に) すぐそこに」  
ℓ. 46 ◇ there is no one to leave the baby with 「赤ん坊をあずける人がいない」  
ℓ. 47 ◇ bring ~ along 「~と一緒に連れてくる」  
ℓ. 48 ◇ she's at the age where it's a lot of trouble 「彼女は扱うのが厄介な年頃だ」  
ℓ. 49 ◇ it's up to you 「あなた次第だ；それはあなたに任せる」  
ℓ. 50 ◇ confirm ~ 「~を確認する」  
ℓ. 52 ◇ better make it 10:00 = we had better make it 10:00

## 【7】

### 解答

- (1) c    (2) a    (3) b    (4) b    (5) a

### 解説

- (1) 「バーダーマンの村の人々はコブラを(                      )とみなしている。」

- a 自分たちの子供  
b 毒蛇  
c 宗教的生き物

○ being = ① existence    ② the nature of a person    ③ *a living creature*

ℓ. 6 ~ 7 One woman said, "They're not really cobras. Each one is the Hindu goddess Jhankeswan." の女性の発言の内容から c とわかる。

(2) 「ヘビ学者のD. P. サンヤル氏はバーダーマンのコブラは( )と考えている。」

- a 有害な毒を持っている
- b 人に噛みつくことはない
- c 毒蛇ではない

ℓ. 8 ~ 9 He said the snakes are real cobras and are deadly poisonous. に一致。

(3) 「村人の1人はコブラに何度も噛まれたあとで, ( )と思っている。」

- a ヘビと人間は一緒に暮らしてはならない
- b ただ人に教訓を与えるためにコブラは人に噛みつくのである
- c 人々はコブラを神や女神として扱うべきである

○ treat = consider or act in relation to something in a particular way; behave toward somebody in a particular way

ℓ. 14 ~ 16 “They sometimes bite us but it is only as a mother slaps (hits with an open hand) her child for doing something bad. She doesn’t want to harm her child, she just wants to teach it not to do wrong.” に一致。

(4) 「コブラが自分のベッドの中にいることを知った時, 筆者は ( )。」

- a 大声をあげて助けを求めた
- b ヘビを驚かせないようにした
- c そっとヘビをベッドから押し出した

ℓ. 21 ~ 22 I did not shout for help or try to get out of bed, worrying that I might frighten the snake. に一致。

(5) 「僧はコブラが筆者と一緒に眠っているのを見つけると, ( )。」

- a そのことについて冗談を言った
- b 恐怖のあまり硬直して冷や汗をかいた
- c 筆者を蚊帳の外へと助け出した

ℓ. 27 ~ 28 “At night there are too many mosquitoes,” he said, “so the snake preferred to sleep with you under a net!” はjokeと考えられる。

#### 全訳

誰もがヘビを怖がるわけではない。それどころか、ヘビと生活を共にするほどヘビが好きな人もいる。バーダーマンの4つの村では、6000匹ものコブラが村人と共に暮らしているのだ。

去年の夏、私は1人でバーダーマンのコブラを見に行った。到着した時、私は自分の目を疑った——至る所にヘビがいるのに、村人たちは怖いという感情すら持っていないと言っているのだ。ある女性は「あれは本当はコブラではないのです。それぞれが、ヒンドゥー教の女神、ジャンクスワンなのです。」と言った。

著名なヘビ学者のD. P. サンヤル氏は、これに異を唱えている。彼は、バーダーマンのヘビは正真正銘のコブラで一撃必殺の猛毒を持っている、と言った。「バーダーマンのコブラが人を殺さない理由は、人を噛む時、毒を放出しないからである。これは極めて珍しいことである。」と彼は言った。

そして、確かに、この10年間で、ヘビに噛まれて死んだ人は1人もいない。だが、およ

そ100人もの人々がかまれているのである。35歳のハル・チャトルジョーにいたっては、この数年間で6回も噛まれているのである。噛まれても害はないのだと確信しているので、医者には行かなかったのだ。「コブラは私たちに決して害は加えません。噛むこともありますが、それは、子供が何か悪さをした時母親が平手で叩くようなものです。母親は子供に危害を加えるつもりはなく、ただ悪さをしないようにと教えただけなのです。」と言った。

たとえその話が本当だとしても、1匹のヘビが私に非常に恐ろしい一夜を経験させてくれたことがあるのだ。私は、村の僧の家に泊まっていて、蚊帳の中に入っていつものように床についた。午前3時頃、急に目が覚めた。ベッドの中に何かがあった。最初は、隣りで寝ている誰かの手かと思ったが、すぐにそれはコブラだとわかった。心臓がどきどきと鼓動し始めた。コブラを驚かせるかもしれないと思って、私は助けを求めて叫ぶことも、ベッドから抜け出そうとすることもしなかった。もちろん、その夜はそれ以降は全く眠れず、眠る代わりに、恐怖で冷や汗をかき、横になったままずっと起きていた。何よりも怖かった瞬間は、コブラが鎌首を私の脇の下や首の周りに押しつけてきて私の体から出る汗をなめた時であった。

2時間以上がたつてようやく夜が明けると、僧が私を起こしにやって来た。彼が蚊帳を上にあげると、私が石のようにこちこちになっているのに気づき、次にコブラが目に入った。僧は微笑んで、コブラのしっぽをそっとつかみ、ベッドから下ろした。「夜は蚊があまりにも多く出るので、コブラもあなたと一緒に蚊帳の中で眠りたかったのでしょうか!」と僧は言った。

#### 注

ℓ. 1 ◇ Not everyone 《部分否定》

◇ frightened = feeling worried and afraid because they think something bad is going to happen

◇ in fact: used to introduce a piece of information that is different, surprising, or more precise

ℓ. 2 ◇ share A with B = use A jointly with B

◇ cobra = a poisonous snake found in Africa and Asia that can spread the skin of its neck into a kind of hood

ℓ. 4 ◇ for oneself = by *one's* own efforts and for *one's* own use

◇ I could not believe my eyes = I was very surprised by what I saw

ℓ. 5 ◇ everywhere = in every part of a particular area

ℓ. 6 ◇ even: used to show that a fact is surprising or unexpected

◇ really: used in a negative statements to make them less strong

◇ Hindu = that is connected with Hinduism

○ Hinduism = one of the main religions in India that has several gods and promised life after death

◇ goddess = a female god

ℓ. 8 ◇ well-known = that a lot of people know

◇ agree = have the same opinion as somebody does

ℓ. 9 ◇ deadly = extremely

◇ poisonous = that contains poison

◇ The reason (that) the Bardhaman cobras don't kill people

○省略されているthatは関係副詞。

ℓ. 10 ◇ that [when they bite,] they don't release any poison  
副詞節

○ bite = make a hole in the skin of a person or animal, often removing blood or injecting poisons

○ release = let out a substance

◇ most = very; really

◇ unusual = that is different from what is usual

ℓ. 11 ◇ sure enough: used to confirm that what *one* expected to happen did happen

cf. I said my brother would be there, and *sure enough*, he was there.

(私は兄はそこにいるだろうと言ったけど、案の定彼はそこにいた。)

◇ in the last ten years 「この10年間で」

cf. for the last ten years (この10年間ずっと)

◇ die of = meet death by reason of

◇ bite = an act of biting

ℓ. 13 ◇ dangerous = that may cause harm or a problem

ℓ. 14 ◇ never = at no time

◇ harm = hurt physically or psychologically

◇ as: used to describe the way that something should happen

◇ slap = hit with the palm of *one's* hand to hurt them or as a sign of friendship

ℓ. 16 ◇ wrong = an action that is morally bad

ℓ. 17 ◇ scare = an experience that makes *one* feel frightened

cf. a *scare* story (パニック記事) / *scare* tactics (脅し戦法)

ℓ. 18 ◇ priest = ①[in Christianity] a person who is trained to perform religious duties and ceremonies, especially in the Roman Catholic Church ② [*in Buddhism, Islam*] a person who performs religious duties and ceremonies in some non-Christian religions

◇ as usual = as happens most often

◇ mosquito net = a net that hangs over a bed or the entrance to a tent as a protection against mosquitoes

○ mosquito = a small flying insect, the female of which bites people and sucks their blood. Mosquitoes can spread malaria.

ℓ. 20 ◇ next to = beside (a place, person)

ℓ. 21 ◇ beat = [heart, pulse] make a regular rhythmic movement

◇ shout = speak very loudly

◇ worry = be worried < worried = who is unhappy because they cannot stop

- thinking about something unpleasant that has happened or might happen
- ℓ. 22 ◇ frighten = make (a person or animal) afraid  
 ◇ instead = as an alternative
- ℓ. 23 ◇ awake = not asleep  
 ◇ sweat = have sweat coming out of *one's* skin
- ℓ. 24 ◇ armpit = the part of *one's* body under *one's* arm where it joins the body and hair grows  
 ◇ lick = move *one's* tongue over the surface of something to taste it, clean it, make it wet, etc.
- ℓ. 25 ◇ daybreak = the time at the beginning of the day when the first light appears in the sky  
 ◇ lift = move (something or somebody) to a higher position, especially with effort
- ℓ. 26 ◇ the net = the mosquito net  
 ◇ stiff = that is hard and does not bend easily  
 ◇ gently < gentle = calm and kind
- ℓ. 27 ◇ tail = the part of an animal at the end furthest from its head that it can move
- ℓ. 28 ◇ prefer to ... = like to do better than something else



解答例

On Saturdays I get up as early as on weekdays, around six o'clock. After getting dressed and having breakfast, I take the train to school, where I have four classes. I have lunch with my friends before going to Shinjuku to study math and English at Z-Kai. When the classes are over, I go home, have dinner, watch TV, and go to bed. [63 words]

解説

- A description of a routine should be written in present tense, since it describes habitual or customary activities. This is a fairly simple composition topic that can be done using basic sentence structures. Try to vary the expressions you use to express time sequence so that your writing is not monotonous.

- Be careful with prepositions in time expressions :

*In* the morning

*In* the afternoon

*In* September

*On* Saturday

*On* weekdays

*During* the week

*During* summer vacation

*At* 6:00

*At* about six o'clock

*Around* noon

*From* 10:00 to 12:00

*For* two hours

- Some common errors :

- × I have a lesson of English.
- × I go to Z-Kai because I take a lesson of E3J.
- × I have the lesson of Mr. Yanase.
- I have a math lesson.
- I take E3J.
- I take Mr. Suzuki's class.
- I study physics for two hours.
- I have a lesson in flower arrangement.